フォルダインポート

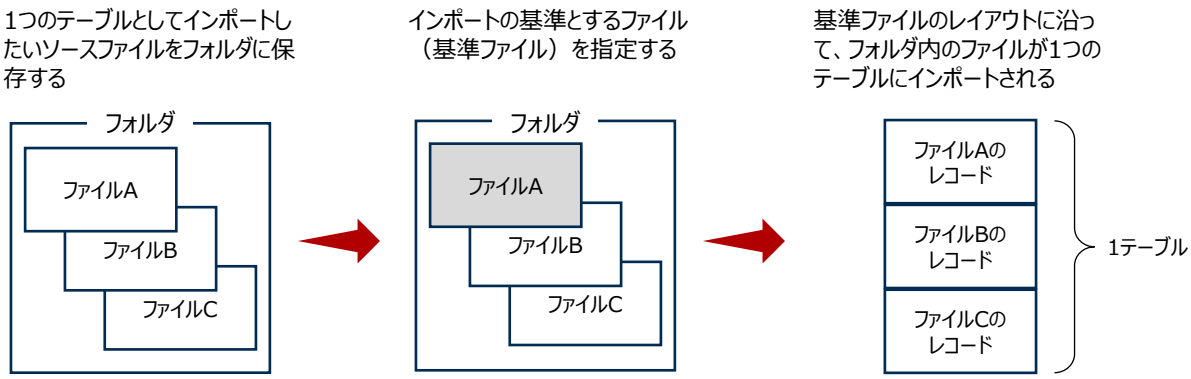
複数のソースファイルを1つのテーブルとしてインポートする

◇フォルダインポートとは

《フォルダインポート》は、指定したフォルダ内の複数のソースファイルを1つのテーブルとしてインポートする機能です。

※ソースファイルとして、Excelファイル、CSVファイルなどの区切り文字付テキストファイル、メールファイルが使用できます。

＜フォルダインポートのイメージ＞



＜使用例＞

- 1～12月の月別の売上データのファイル（12個のファイル）を、1年間のテーブルとしてインポートする。
- 事業所の各部門から回収した勤怠データのファイルを、事業所全体のテーブルとしてインポートする。

◇フォルダインポートの動作

- ソースファイルのファイルの種類は、同じでなければなりません（ExcelファイルとCSVファイルを《フォルダインポート》でインポートすることはできません）。
- ソースファイルを保存するフォルダは、「03_source」フォルダ、または、「03_source」フォルダのサブフォルダでなければなりません。
- 「基準ファイル」として選択したファイルのファイルのプロパティおよびフィールドのプロパティに基づいてテーブルが作成されます。
- 各ソースファイルの同じ名前の列が同一のフィールドとみなされます。
  - 「基準ファイル」以外のファイルにのみ存在する列は、インポートされません。
  - 列の並び順は異なっていても構いません。ただし、インポート時に「インポート開始行をフィールド名として使用する」オプションを選択しなかった場合（フィールド名が「Column1、Column2、・・・となる場合）は、列の並び順で同一フィールドが決定されます。
- ソースファイルのインポートの順番は、ナビゲータの「ソースファイル」フォルダでのファイルの表示順となります。サブフォルダがある場合は、ルートフォルダのファイルがインポートされた後、サブフォルダのファイルがインポートされます。
- サブフォルダのファイルも含めてインポートする場合、同じファイル名のファイルが異なるフォルダに存在すると、インポート後にどのファイルかインポートされたレコードかが区別しずらくなるため、ソースファイルは同じ名前にしないようにすることをお勧めします。

◇インポートされないファイル

「基準ファイル」と以下の点が異なるファイルは、インポートできません。

- ソースファイルがExcelファイルの場合：ワークシート名
- ソースファイルがテキストファイルの場合：文字のエンコード、区切り文字、文字列の引用符

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇フォルダインポートの手順

フォルダインポートは、以下のステップで行います。

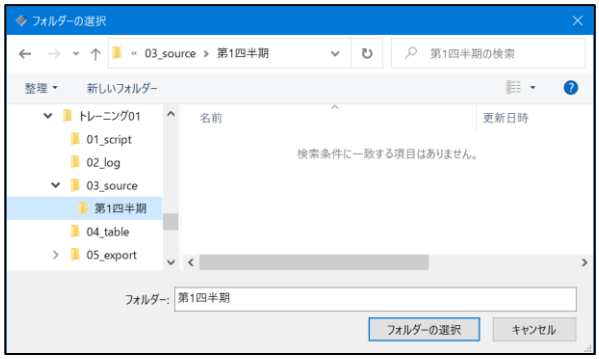
（1）メニューの選択 →（2）フォルダの選択 →（3）インポート対象とするファイルの指定 →（4）シートの選択／ファイルのプロパティ設定 →（5）フィールドプロパティ設定 →（6）テーブル名の保存

（1）メニューの選択

メニューバーの《インポート》をクリックし、《フォルダインポート》をクリックします。

（2）フォルダの選択

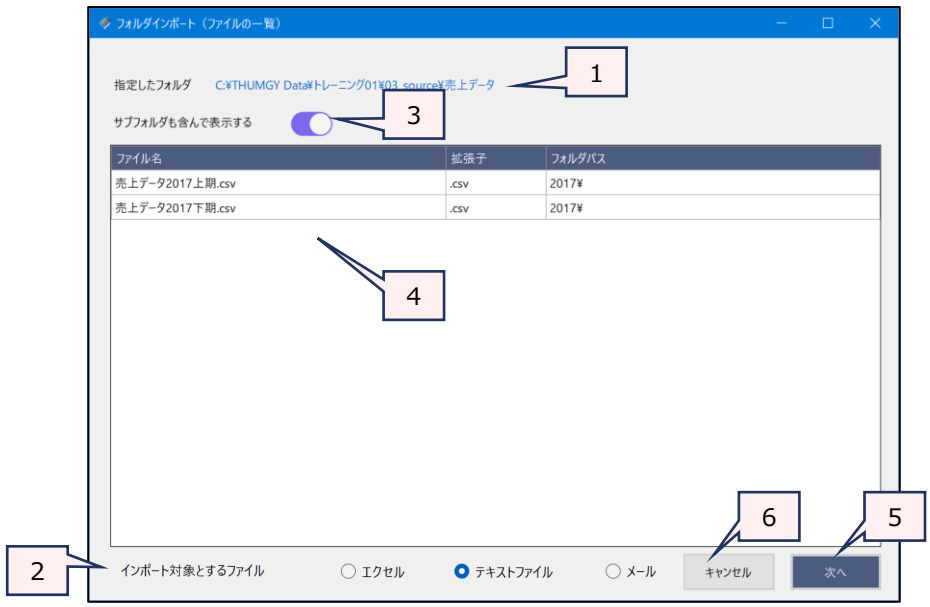
プロジェクトフォルダ内の「03_source」フォルダまたはサブフォルダを選択し、《フォルダーの選択》をクリックします。



※「フォルダーの選択」画面では、フォルダー内のファイルは表示されません。

（3）インポート対象とするファイルの指定

インポート対象とするファイルの種類などを選択し、《次へ》をクリックします。



1. 指定したフォルダ：指定したフォルダのパスおよびフォルダ名が表示されます。
2. インポート対象とするファイル：

   インポートするファイルの種類を選択します。フォルダ内にExcelファイルとテキストファイルが保存されていても、選択したファイルの種類と一致するファイルのみがインポート対象となります。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

3. サブフォルダも含んで表示する：
   指定したフォルダ内のサブフォルダに保存されているファイルをインポート対象とするかどうかを選択します。

4. ファイルの一覧　：「インポート対象とするファイル」および「サブフォルダも含んで表示する」の選択により、インポート対象となるファイルの一覧が表示されます。
   - 一覧には、「ファイル名」、「拡張子」、「フォルダパス」が表示されます。サブフォルダ内のファイルは、「フォルダパス」にサブフォルダ名が表示されます。
   - この一覧で表示されるファイルの順番でインポートが行われます。

5. 《次へ》ボタン　：次の画面へ進みます。

6. 《キャンセル》ボタン　：実行せずに画面を閉じます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

（4）シートの選択／ファイルのプロパティ設定

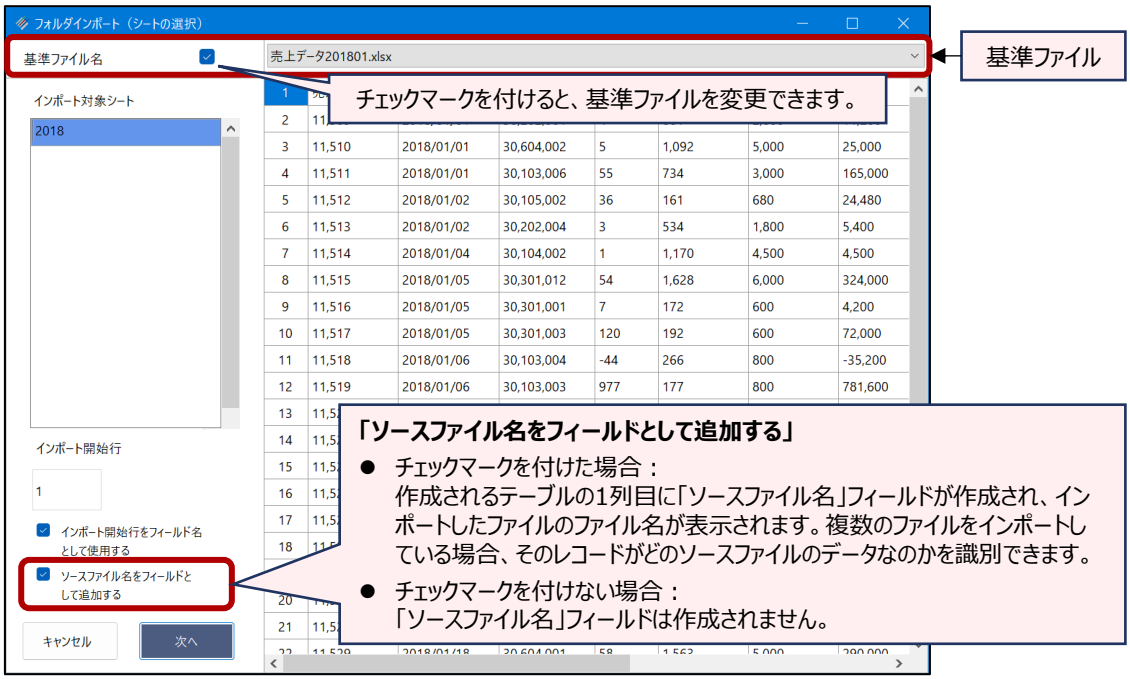
「基準ファイル名」のリストからインポートの基準とするファイル（基準ファイル）を選択し、ファイルについての設定を行い、《次へ》をクリックします。

「インポート対象とするファイル」で選択したファイルの種類により、設定項目が異なります。

「ソースファイル名をフィールドとして追加する」オプションは、《フォルダインポート》コマンドで共通のオプションです。

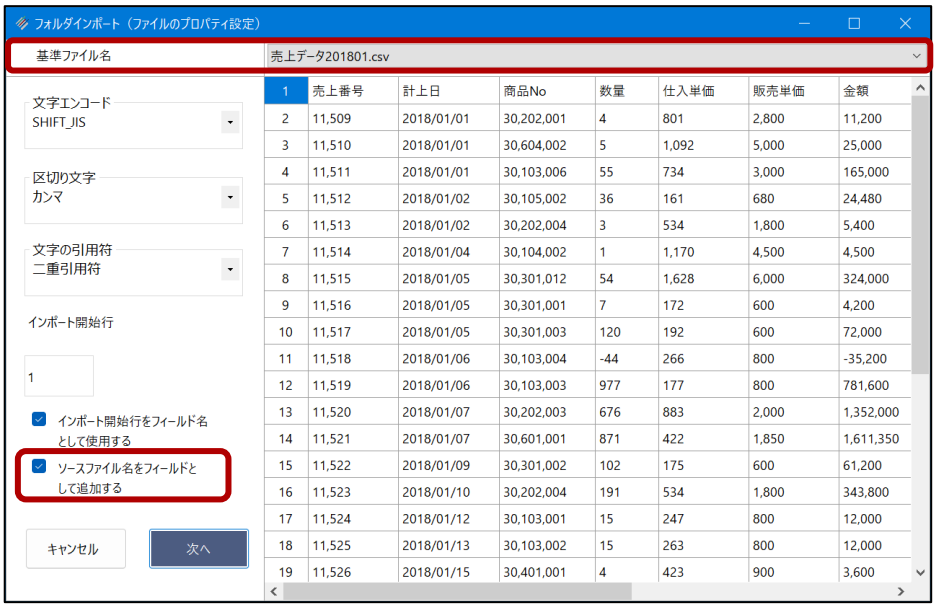
＜「インポート対象とするファイル」で「エクセル」を選択した場合＞

「基準ファイル名」、「ソースファイル名をフィールドとして追加する」以外の項目については、「◇Excelファイルのインポートの手順」の「（3）シートの選択」を参照してください。



＜「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」または「メール」を選択した場合＞

「基準ファイル名」、「ソースファイル名をフィールドとして追加する」以外の項目については、「◇CSVファイルなどの区切り文字付きテキストファイル・Outlookのメールファイルのインポートの手順」の「（3）ファイルのプロパティ設定」を参照してください。

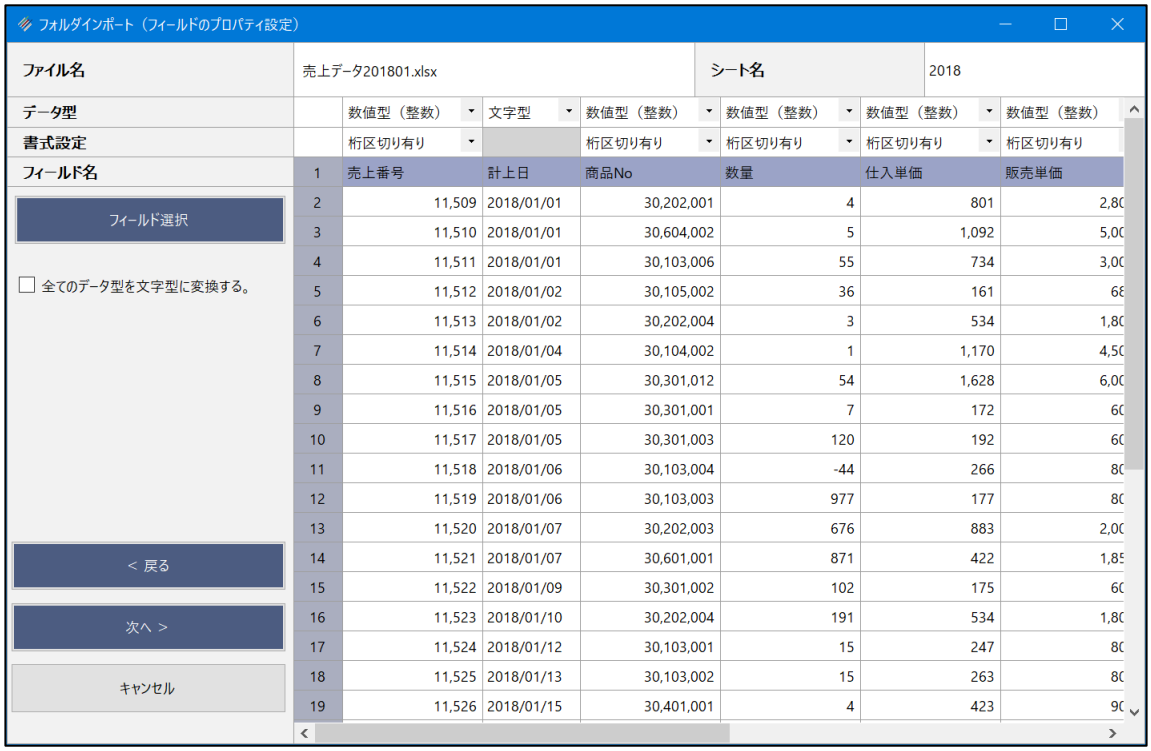


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

（5）フィールドプロパティ設定

フィールド（列）ごとのデータ型の設定などを行い、《次へ》をクリックします。

設定については、「◇Excelファイルのインポートの手順」または「◇CSVファイルなどの区切り文字付きテキストファイル・Outlookのメールファイルのインポートの手順」の「（4）フィールドプロパティ設定」を参照してください。

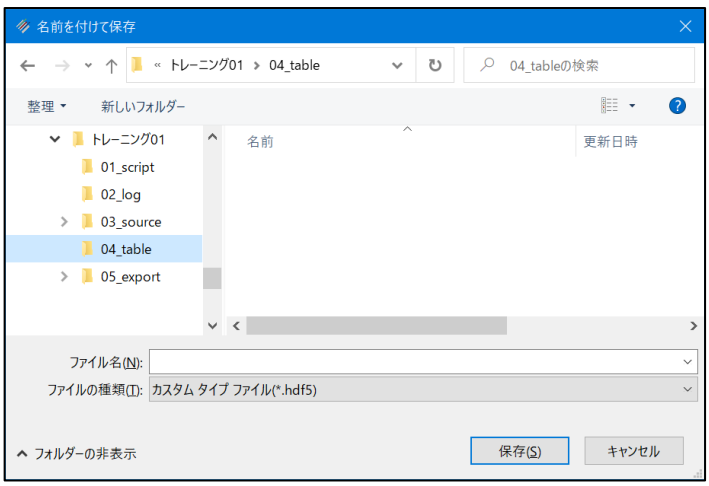


		数値型（整数）	文字型	数値型（整数）	数値型（整数）	数値型（整数）	数値型（整数）
		桁区切り有り		桁区切り有り	桁区切り有り	桁区切り有り	桁区切り有り
	1	売上番号	計上日	商品No	数量	仕入単価	販売単価
	2	11,509	2018/01/01	30,202,001	4	801	2,80
	3	11,510	2018/01/01	30,604,002	5	1,092	5,00
	4	11,511	2018/01/01	30,103,006	55	734	3,00
	5	11,512	2018/01/02	30,105,002	36	161	68
	6	11,513	2018/01/02	30,202,004	3	534	1,80
	7	11,514	2018/01/04	30,104,002	1	1,170	4,50
	8	11,515	2018/01/05	30,301,012	54	1,628	6,00
	9	11,516	2018/01/05	30,301,001	7	172	60
	10	11,517	2018/01/05	30,301,003	120	192	60
	11	11,518	2018/01/06	30,103,004	-44	266	80
	12	11,519	2018/01/06	30,103,003	977	177	80
	13	11,520	2018/01/07	30,202,003	676	883	2,00
	14	11,521	2018/01/07	30,601,001	871	422	1,85
	15	11,522	2018/01/09	30,301,002	102	175	60
	16	11,523	2018/01/10	30,202,004	191	534	1,80
	17	11,524	2018/01/12	30,103,001	15	247	80
	18	11,525	2018/01/13	30,103,002	15	263	80
	19	11,526	2018/01/15	30,401,001	4	423	90

（6）テーブル名の保存

「ファイル名」にテーブル名を入力し、《保存》をクリックします。

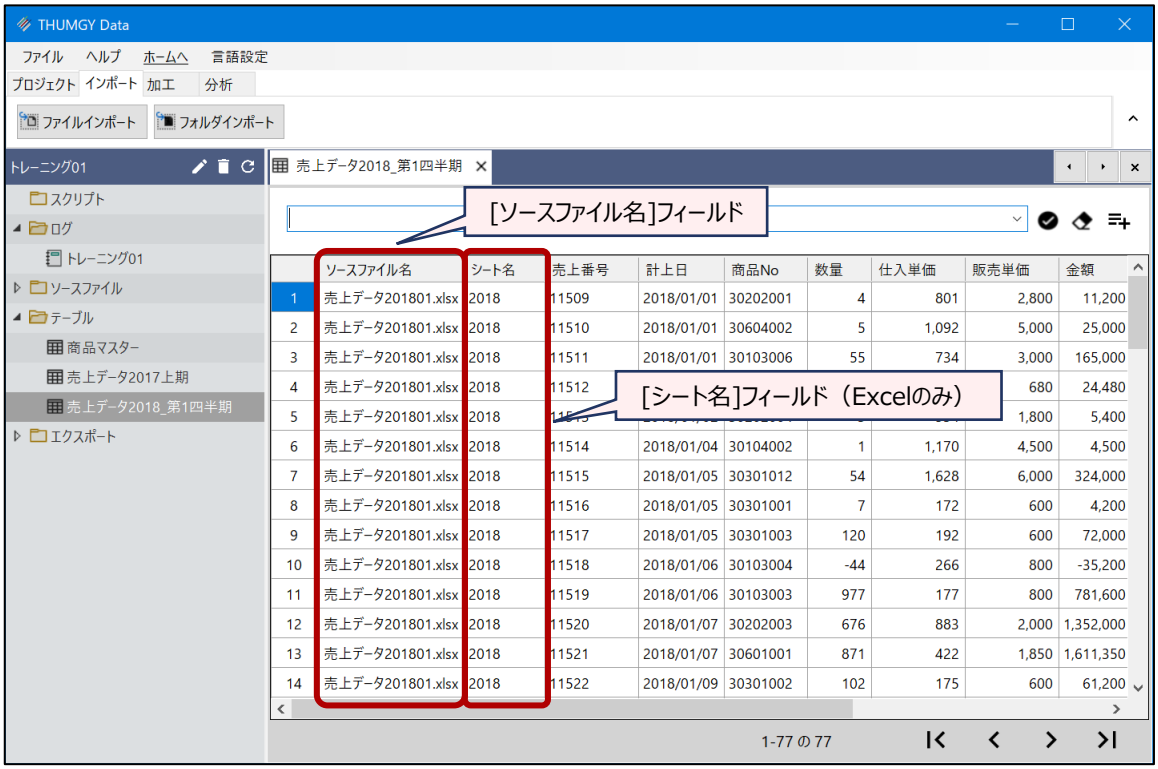
- テーブル名の長さは、64文字までです。
- テーブルは、拡張子「.hdf5」のファイルで作成されます。
- ファイルの保存場所は、プロジェクトフォルダ内の「04_table」フォルダです。



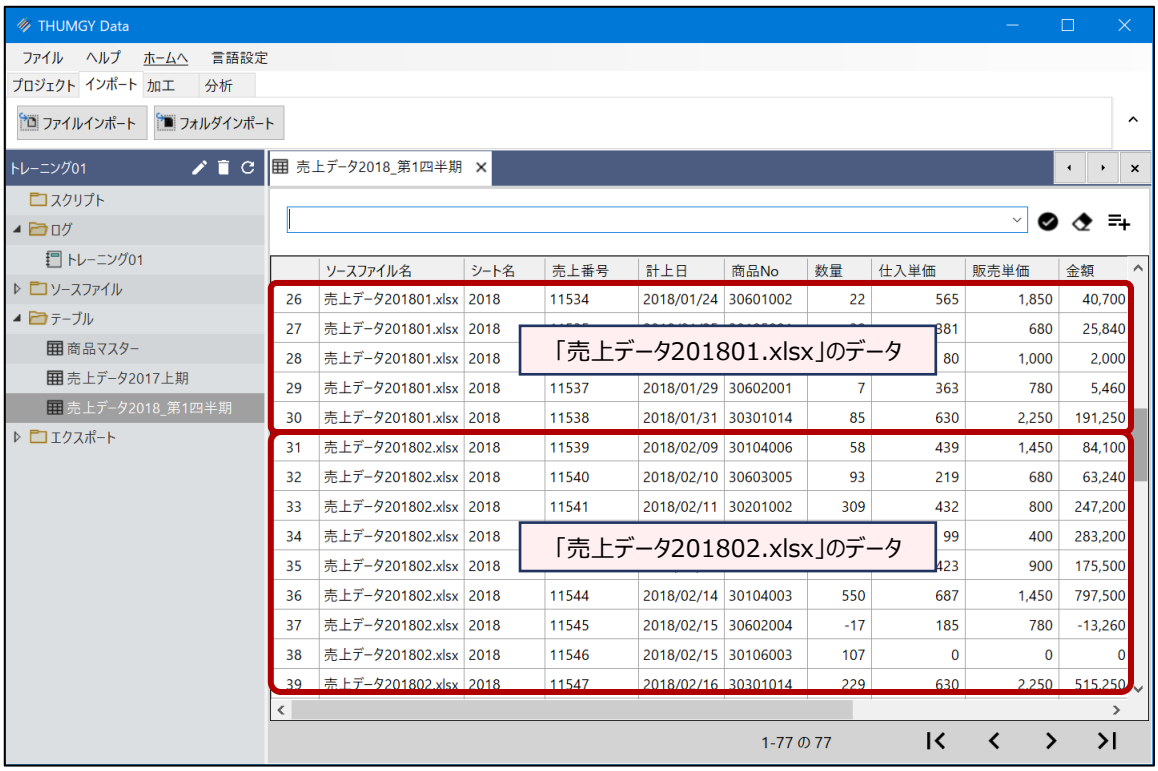
© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇テーブルの画面

「ソースファイル名をフィールドとして追加する」オプションにチェックマークを付けた場合は、1フィールド目が[ソースファイル名]フィールドになり、インポート元のファイル名が表示されます。「インポート対象とするファイル」で「エクセル」を選択した場合は、2フィールド目が[シート名]フィールドになります。



[ソースファイル名]フィールドの値で、複数のソースファイルのレコードがインポートされていることが確認できます。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇**操作ログ**

IMPORT FOLDER TYPE ファイル形式 **TO** “テーブル名” **FROM** “指定したフォルダ名” SUBFOLDER **BASE** “ファイルパス¥基準ファイル名” TABLE “インポート対象シート名” “文字エンコード” QUOTECHAR “文字の引用符” SEPARATOR “区切り文字” **STARTLINE** n KEEPSOURCECOLUMN **FIELD** [フィールド名1] データ型 PIC 書式 **FIELD** [フィールド名2] データ型 PIC 書式 ・・・

※「ファイル形式」は、「インポート対象とするファイル」の選択によって異なります。

インポート対象とするファイル	ログ
EXCEL	EXCEL
テキストファイル	DELIMITED
メール	EMAIL

※「指定したフォルダ名」は、「03_source」フォルダを指定した場合は、「””」と記述されます。

※「サブフォルダも含んで表示する」を選択した場合は、「SUBFOLDER」が記述されます。

※「インポート対象とするファイル」で「EXCEL」を選択した場合は、「TABLE」にインポート対象シート名が記述されます。

（例）「インポート対象シート」で「sheet1」を選択した場合：TABLE "sheet1"

※「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合は、「文字エンコード」で選択した値が記述されます。

（例）「文字エンコード」で「CP932」を選択した場合："CP932"

※「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合は、「QUOTECHAR」に「文字の引用符」で選択した値が記述されます。

（例）「文字の引用符」で「二重引用符」を選択した場合：QUOTECHAR """

※「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合は、「QUOTECHAR」に「文字の引用符」で選択した値が記述されます。

（例）「文字の引用符」で「二重引用符」を選択した場合：QUOTECHAR """

※「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合は、「SEPARATOR」に「区切り文字」で選択した値が記述されます。

（例）「区切り文字」で「カンマ」を選択した場合：SEPARATOR ","

※「STARTLINE」には、「インポート開始行」で指定した行数が数値で記述されます。

※「ソースファイル名をフィールドとして追加する」オプションにチェックマークを付けた場合は、「KEEPSOURCECOLUMN」が記述されます。

※「FIELD」には、インポートするフィールドごとに、フィールド名、データ型、書式（PIC 書式）が記述されます。

＜データ型＞

データ型	ログ
文字型	C
数値型（整数）	N
数値型（10進数）	F
日付時刻型	D

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

＜書式＞

データ型	書式	ログ
文字型	なし	なし
数値型（整数・10進数）	桁区切り有り	PIC "True"
	桁区切り無し	PIC "False"
日付時刻型	yyyy/mm/dd など	PIC "yyyy/mm/dd" 選択した書式に応じた記述になります。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.